

記者発表資料

平成27年10月6日
国土交通省東北地方整備局
小名浜港湾事務所

「相馬港大型LNG船受入施設着工式」を開催します

～復興を支えるエネルギー供給拠点の本格着工～

- 相馬港では、石油資源開発(株)によるLNG基地の建設が進められており、これと連携して、東北地方整備局では大型LNG船が安全に入港するために、海底地盤を掘り下げる工事を行います。
- LNG受入栈橋整備及び海底地盤掘り下げにより、大型化が進むLNG輸送船の受け入れを可能とし、LNGの安定的かつ安価な輸入の実現を図ります。
- 復興を支えるエネルギー供給拠点としての機能が強化され、地域経済の復興を後押しする「復興のシンボル」となるものとして期待されています。
- 短期間に大量の土砂を掘るため、国内最大級の大型作業船を使用します。

1. 式典概要

- ◇開催日時 : 平成27年10月10日(土)午前11時～午前12時
- ◇場所 : 相馬港3号ふ頭内(別紙2参照)
- ◇主催 : 国土交通省 東北地方整備局 小名浜港湾事務所
- ◇共催 : 福島県、石油資源開発株式会社
- ◇実施内容 : 挨拶、セレモニー(浚渫船稼働開始)等
- ◇主な出席者 : 国会議員、福島県副知事、相馬市長、新地町長、福島県議会議員、石油資源開発(株)社長、関係企業・団体等

2. 取材申込

取材申込書(別紙2)に必要事項を記入の上、10月8日(木)正午までにお申し込み願います。

《お問い合わせ先》

国土交通省 東北地方整備局 小名浜港湾事務所
企画調整課 小野寺(おのでら)、藁谷(わらがい)
TEL:0246-53-7142 FAX:0246-53-2912

【投込先】福島県政記者クラブ、南相馬記者クラブ

【大型LNG船受入施設整備】

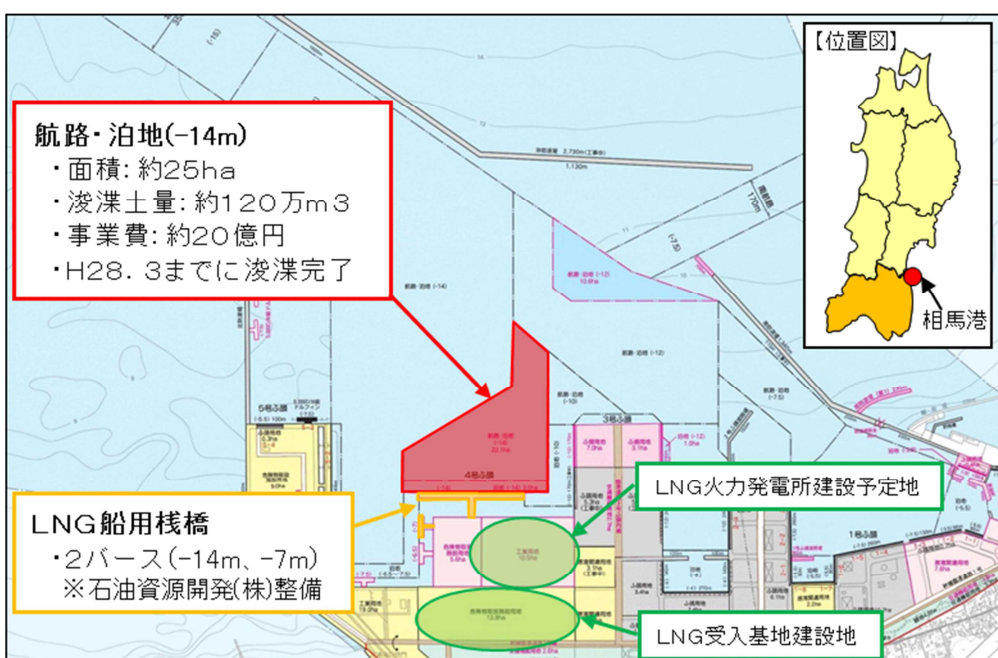
相馬港は、港湾背後に立地する発電所等への石炭の供給拠点となっており、東日本地域の経済基盤の一つである電力を物流の面から支えています。

日本地域におけるLNG供給能力の増強を図るため、従来よりエネルギー供給拠点として重要な役割を担っていた相馬港において、石油資源開発(株)によるLNG基地の建設が順調に進められているところです。

東北地方整備局では、このような情勢に的確に対応しLNGの安定かつ効率的な輸送を実現するため、大型LNG船の安全な入港が可能となる水深14mの航路・泊地の整備(-10mから-14mへの掘り下げ)を行います。

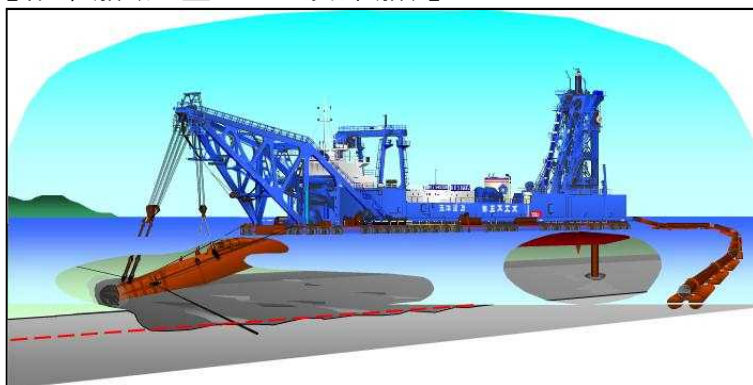
これに続き、LNG船用棧橋の整備を石油資源開発(株)が行い、大型LNG船の受入施設の整備が完了します。

この整備により、相馬港のエネルギー供給拠点としての機能が強化され、地域経済の復興及びさらなる発展に寄与すると期待されています。



※並行して、LNG基地、LNG火力発電所(計画中)の整備も行われます。

【作業船(大型ポンプ浚渫船)】



○船体寸法(全長131m×船長91.75m×船幅19.4m×中央部深6.1m)

○ポンプ出力:8,000PS(国内最大級)

○工事請負者:五洋・本間特定建設工事共同企業体

※本工事のために、通常海外で稼働している本船を投入

FAX : 0246-53-2912

E-mail: info-o82ab@pa.thr.mlit.go.jp

東北地方整備局 小名浜港湾事務所 企画調整課 行き

相馬港大型 LNG 船受入施設着工式 取材申込書

所属	氏名	連絡先	E-mail

申込み期限 : 10月8日(木)12:00

※天候等の影響により、変更または中止となる場合がございます。連絡先欄には、代表者様の携帯電話など、常時連絡が取れる電話番号をご記入ください。

